



## 新棟建設案

藤田保健衛生大学病院  
病院長

星長 清隆



最近の学園のガバナンスの改革ならびに病院収益の改善により、新放射線棟（低侵襲画像診断・放射線治療センター）に加えて、新病棟建築ならびに旧病棟耐震化が可能となりました。ここに建設計画を説明させていただきます。

まず、新放射線棟（低侵襲画像診断・放射線治療センター）ですが、旧アセンブリホール跡に建設工事が進んでおり、平成24年8月末の竣工後には最新鋭の放射線機器を導入します。まず地下1階には、放射線治療装置（2台）、密封小線源治療装置（2台）、1階にはPET-CT（2台）、SPECT装置（4台）、2階にはMRI（4台）、3階には血管造影装置（5台）、4階にはCT（4台）、5階には透視用X線テレビ装置（4台）を置く予定です。

次に新病棟ですが、第一駐車場を移転してこの跡地に建設します。駐車場の移転先は旧看護師寮ヴィラBの跡地で、6層の立体駐車場とし、ここから新病棟に直結する屋根つき歩道を計画しています。新病棟は地上12階、地下1階で、国が定める災害基幹病院に相応しい建築物にしたいと考えております。地下には食養部やリハビリテーションセンターなどをおき、1階には救急外来や救急用CT、一般撮影室、各科外来を配置します。2階には各科外来、3階には手術室（現

在の手術室と直結させて、計23室となります）とICU、SHCUなど、4階は救命救急ICU、NCU、CCU、災害・外傷センターなどを配置します。また、5～7階には心臓血管外科、消化器外科、脳外科などリスクの高い患者さんが多く居られる診療科を配置したいと考えております。一方、最上階（12階）には特別個室病棟を設置し、様々な患者さんのご要望に応えられる病棟にしたいと考えております。これらの基本設計は全国的な複数の設計事務所からコンペ形式で選ばれた梓設計事務所をお願いしており、今後2～3ヶ月の間に各部門と直接話し合いの場を持った後、最終設計案を今年度中に纏めたいと考えております。その後、5社以上のゼネコンに見積りをお願いし、最も私たちの希望に近い会社に工事をお任せしたいと思います。今後、役所との折衝などを考慮しますと、着工は平成25年5月ごろになる見込みで、平成26年末には竣工させたと考えております。その後、2号棟の患者さんには一時的に新病棟へ移って頂き、2号棟の耐震化を一気に行う予定です。1号棟は将来3～4階建ての低層としたうえで耐震化工事を行うという案もありますが、現時点では未定です。

以上が現時点で私どもが考えております近未来の予定です（右上図）。また、20年後プランも梓設計から提案されております。これは3号棟に代わる次の新病棟も考慮し、新たに学校群と病院群を東西に分け、中央部をU字型の緑の空間で置き換えるというもので、一見、米国の有名私立大学かと思間違えるような構想です（右下図）。これからの学園の財政状況によっては決して不可能では無いと思います。今後とも藤医会の先生方の益々のご支援をお願い致します。